

1. 題材設定の理由

2学期には、運動会など大きな行事が多く行われ、それに合わせて学級の凝集度が高まってきた。一人一人の児童も、こうした学習活動を通して、さまざまな「生きる力」を身につけてきたであろう。

この時期に、2学期の自己や学級の成長の跡を確かめ、互いにその成長を認め合うことは、協調的な雰囲気をもつ学級づくりに不可欠な部分である。そして、3学期もこの仲間と共に、精一杯やりきろうとする決意をもたせていきたい。

2. 指導のねらい

2学期全体を振り返り、自分のがんばりや仲間のがんばり（2学期の宝物）をお互いにたたえ合うことを通して、3学期を迎えるにあたっての心構えをもつことができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・帰りの会で、自分が2学期にどんな部分をごんばってきたのかが答えられるよう提案しておく。
本時	・自分や仲間の「2学期の宝物」を互いにたたえ合うことで、3学期を迎えるにあたっての心構えをもつ。
事後	・冬休みのくらしで、3学期の決意を確かなものにする。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・2学期に成長した部分を自分なりに明らかにすることができる。	◎2学期全体を振り返って、「すごくよくがんばれたなあ」と思えることに◎を、「自分なりに、がんばれた」と思えることに○をつける。	・具体的な場面から思い起こさせるようにする。学級の足跡として、掲示物などがあるれば、それらを用いて話をすると答えやすい。	ノート① 1学期末に行った5-6「1学期の宝物」
課題：2学期を振り返り、自分や仲間のがんばりをたたえ合おう。				
中心的活动	・1学期と比べて2学期に成長した部分を自分、生活班と範囲を広めて考えることを通して、互いに力を合わせて高まってきたことが実感できる。	◎表をもとにしながら、1学期と比べて、特に2学期自分なりに「このことはがんばれた」といえるものを書き出す。 <例> ・1学期に比べて、班の仲間と教え合いながら、挙手回数を増やすことができた。  ◎班や学級の仲間から励ましの言葉を別の紙に書いてもらい、下の欄に貼りつける。 <例> ・グループの中で、一番掃除をがんばっていたと思います。 **さんの姿を見て、わたしもがんばろうと思いました。	・がんばれたのはなぜなのかを考えさせたい。  ・生活班などの小グループでこの部分を考えさせる。 ・人権同和的な見地から、特に配慮を要する記述をしている児童に対しては、机間指導を通して、その場で気づかせていく。	ノート② ・学級通信 ・日記 ・掲示物 ・写真  ノート③ ・励ましの言葉を記入する用紙
まとめ	・3学期を迎えるにあたり、新たな心構えをもつことができる。	◎自分の成長の跡や仲間からの言葉（宝物）を通して、感想や今の思い、3学期に向けてがんばろうと思うことを文にまとめる。	・自分や仲間のがんばり（2学期の宝物）をお互いにたたえ合うことを通して、新たな決意をもつことができたかを評価する。	ノート④